

第 11 回 （ 令和 6 年 9 月 ）

宮 津 市 教 育 委 員 会
定 例 会 議 事 録

令和 6 年 9 月 20 日開会

第 11 回（令和 6 年 9 月）宮津市教育委員会定例会会議録

日 時 令和 6 年 9 月 20 日（金）午前 9 時 00 分～

場 所 宮津市福祉・教育総合プラザ応接会議室

出席者 山本雅弘 伊藤正 田崎浩二 尾崎里花子 藤井陽子

事務局 永濱教育次長 河合学校教育課長 河原社会教育課長 大槻総括指導主事

森本学校教育課参事 井上学校教育課参事 細見指導主事 小山学校教育係長

（傍聴者 1 名）

- 1 開 会
- 2 前回会議録の承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 会期の決定
- 5 教育長報告
- 6 報 告
報告第 14 号 専決処分の報告について
- 7 その他
(1) 10 月の主な日程（教育委員会関係分）について
- 8 閉 会

－開会： 9:00－

山本教育長

只今から、令和6年第11回宮津市教育委員会定例会を開会し、ただちに本日の会議を開きます。

それでは、次第に沿って会議を進行します。

■次第2「前回会議録の承認」

各委員よろしければ、藤井委員と尾崎委員にお世話になります。

■次第3「会議録署名委員の指名」

会議規則第18条第2項の規定により、教育長において尾崎委員と田崎委員を指名しますので、よろしくお願ひします。

■次第4「会期の決定」

本日の定例会の会期は、1日としたいと思ひます。
これにご異議ありませんか。

出席委員

異議なし

山本教育長

ご異議なしと認めます。よって会期は、本日1日間と決定いたします。

山本教育長

■次第5「教育長報告」

【報告事項】

- 中国の深センで登校中の日本人学校の子どもが刺殺をされるという大変悲しい事故が起きました。本当に許されないことだと思います。ご冥福を申し上げたいと思ひます。宮津市でも登下校中の安全安心を確保しないといけないと思ひています。
- 伊藤教育長職務代理者様におかれましては、9/30に任期を終えられますが、引続きお世話になりたいということで、お引き受けいただき、9月議会の初日に議会に同意をいただきました。引き続きよろしくお願ひします。

1 市立幼稚園、小中学校の状況について

- 2学期が順調にスタートしました。一方で、新型コロナが都市部を中心に流行っているという状況や、インフルエンザや手足口病などの感染症も出ているので心配しています。
- 吉津小学校が9/3に「学びフェスタ」を開催しました。新聞にも出ていますが、新しい学び、学ぶことは楽しいんだという意識を子ども達が持てるような取り組みを行っています。
- 宮津小学校については、学校運営協議会の皆さんはじめ、地域の方にお世話なり、米作りをしており、先日稲刈りが終了しました。
- 宮津学院では9/17に、宮津幼稚園でわくわくコンサートが開催されました。宮津中学校の吹奏楽部が宮津幼稚園を訪問して、ミニコンサートをやって、非常に好評でした。本当に各学校それぞれ頑張っているところです。
- 宮津中学校は、10/16にNHKと連携をした取り組みをします。NHKのアナウンサーに講演してもらい、探究的な取り組みを行います。

- 夏にネルソン市に久しぶりに高校生、中学生が訪問しましたが、10/19の土曜日18時から、第1コミュニティルームで報告会が開催されます。久しぶりに中学生が行ったということもあり、ご参加いただけるようであればありがたいです。
- 各学校の2学期がスタートして、それぞれ特色ある取り組みを進めております。学校再編があった府中小学校においても、1学期を無事に終え、2学期が順調にスタートしています。1学期で旧養老小の子ども達も府中小に慣れるというところから、2学期は更に、教育の質を高めていく取り組みをしていきたいということで、楽しみにしています。
- 不登校の子ども達については、2学期がスタートしましたので、校内フリースクールの機能を高めていきながら、居場所づくりや将来に向けての取り組みができたと思います。令和5年3月に文部科学省が出した「COCOROプラン」を読み直しました。その中で大事にしたいことは、「不登校の児童生徒すべての学びの場を確保して、学びたいと思ったときに学べる環境を整える」ことです。宮津中学校の校内フリースクールで、居場所づくりの機能を高めるために、勉強、モチベーション作りなどの機能を付け加えていけば良いかと思っています。
- 心の小さなSOSを見逃さずに、チーム学校で支援するということがあります。学力だけではなく健康観察やショートホームルームでもICTを活用できるのではないかと思います。こういうことを取り入れながら、学校に行きにくくなっている子ども達が、学びたいと思ったときに学べる、支援できるという体制をこれから考えていければと思っています。

2 防災教育の充実について

- 学びの場である学校で、いかに安全を確保していくか、防災教育についてしっかり進めていかなければならないと思っています。能登半島地震のこともあり、各学校に防災教育の点検、改善の指示をしたところですので。併せて登下校中に、災害が起こった時にどうするのか、実際に避難訓練を登下校中にやることも必要だと思っています。特に小学校の子ども達については、指導されていく避難訓練ではなく、自分で判断して、危険なことから身を守る危険回避能力をこれから身につけていかなければならない。幼稚園は指示に従って安全に避難することだと思いますが、小学生は、発達段階に応じて、自分自身で先生に言われなくても判断して、身を守れるような状況になって欲しいと思っています。中学生はそれに加えて、地域の一員として、避難所運営などできる範囲で参画するなど、そういった意識を作っていく必要がある。さらに高校生も意識をしっかり持って色々な形で活躍してもらいたい。そういった意識の部分についても、防災教育をこれから取り組んでいかなければならないと思っています。
- 家庭や地域にもしっかり発信をして、地域ぐるみの取り組みにつなげていけたらと思います。学校運営協議会の中でもしっかり学校の方からも提起をして取り組んでほしい。

3 その他

- 10/21 丹後地方教育委員会連合会研修
- 11/8 丹後地方教育委員会連合会研修会

それでは、委員の皆様から報告等がありましたらお願いします。

尾崎委員

9/3の吉津小学校の学びフェスタを参観しました。子ども達が、生き生きとしていて、各教室で色々なことをやって地域の人も含めて、本当に楽しそうでした。去年より更によかったです。体育館でのパフォーマンスを見せていただきましたが、大道芸人の本物の姿を目の前にして、子ども達が前のめりで見っていました。パフォーマンスをする方が、裸でタトゥーが入っていたのですが、校長先生が、タトゥーがあるから駄目というようなことはない、と言っておられたので、それだけで判断したら駄目だなと少し感じました。大道芸人さん達も本物の手品や、ジャグリングなど色々なことをされて、プロはすごいと思って見せていただきました。子ども達も後で、体験をさせてもらう場面があり、とてもよかったです。

それから宮津中学校の体育祭を参観しました。本当に暑くて大変でした。人数がすごく少なくなっていて、青と赤の2チームでした。100メートルを走るというような競技はなく、棒引きや台風の目など団体競技の方式でした。一番感じたのは、子ども達がすごく声を出していて、皆が声を掛け合い、リレーでは声がかれるぐらい応援していました。真剣に取り組む姿がとても印象的でした。暑さでしんどくなる人もなく、最後まで頑張れてよかったですと思います。

山本教育長

お話のあったタトゥーですが、オリンピックでもインバウンドの方を見てもほとんど入っていない人がいないぐらい入っていますが、日本の場合は刺青のイメージがあり難しいと思います。世界の中で見たら、タトゥーが特別なものではない中で、多様な見方を子ども達ができることも大切だと思います。これからは多様性の時代であり、その多様性の中で自分の身を律すること、他の価値観を尊重することも必要になってきています。ただ一方で、タトゥーはどうかという考えをもっておられる方もあるので、それだけで「いい」「悪い」と判断するのは難しいと思います。

伊藤教育長職務代理者

オリンピックを見ていると、確かにどの競技団体でも、一般的になっているというように思いました。古いかもしれませんが、自分の子や孫達が、そんなふうにご自己表現するということになった時にはどうかと思います。日本では、タトゥーを隠して競技する場合もありますし。世界的にはそのような流れになっているかもしれませんが、日本では刺青というイメージがやはり強いですね。

世界的な流れではありますが、やはり自分の身体に傷をつけるということにもなりますし、やはりそれは考えていかなければならない内容だと思います。

山本教育長

タトゥーをしているから駄目とか、そういうことではないと思いますが、色々な価値観や文化があり、ただそれだけで判断してはいけないのかなと思います。

伊藤教育長職務代理者

そういう姿を子ども達が見たときに、十分に判断できない段階で、それをカッコいいというような思いにばかりにいくのはちょっと心配です。

伊藤教育長職務代理者

教育長報告の中に宮津中学校の校内フリースクールに関わって、お話がありましたが、夏休みが終わって一番心配なのは、不登校児童生

徒の登校指導ですが、3週間あまり新学期が始まって過ぎましたが、目立った状況はないでしょうか。

大槻総括指導主事

不登校については、月初めの調査報告ですので、9月の状況についてはまだですが、1学期の状況については、小学校は前年度比で人数は減少し、中学校は前年比で増加をしている状況です。小学校は減少したということで、学校指導体制を強固にしたことが減少につながっていると思います。中学校は、人数は増加していますが、1人当たりの欠席日数は前年度よりも少なくなっています。これは宮津中学校の校内フリースクールによって、登校する回数が増えてきたということが数字に表れていると考えています。2学期の始業式については、1学期不登校だった児童生徒がすべて登校するという事は難しい状況がありました。

伊藤教育長職務代理者

少しずつ改善されていて、学校でも意識が高まっているということで、いい方向に進んでいったら良いと思います。

山本教育長

宮津中学校の校内フリースクールによって、不登校の子ども達の中にはその状況が変わってきている子どももいると聞いておりますので、引き続きそういった成果を踏まえて不登校対策を進めていきたいと思っています。

■ 6 報告

山本教育長

報告第 14 号「専決処分の報告について」事務局から説明をお願いします。

河合学校教育課長

教育委員会基本規則第 16 条第 2 項第 1 号の規定に基づいて行った専決処分について、報告を行うものでございます。

府中小学校の特別支援教育支援員ということで、補装具を使用した児童の生活支援のための支援員を令和 6 年 8 月 28 日から任用させていただきましたので、報告させていただきます。

■ 7 その他

◆ 次回教育委員会日程

○ 定例会 10月29日（火）午前9時～

永濱教育次長

- 天橋立世界遺産市民講座を開催します。9/21には京都府立大学の上杉准教授、10/5には河森文化財保護担当課長が講座を担当します。また、10/26に天橋立ネイチャー講演会が予定されています。
- 宮津中学校3年生が、今年度のふるさとみやぶ学では、「宮津の減災防災プロジェクト」という活動をしています。このプロジェクトの流れとしては、宮津市の消防防災課から宮津市の防災の課題等の説明を聞き、減災イベントの新会社の設立、就学前施設、小学校でのワークショップイベントの開催をしており、ここまでを1学期に取り組んでいます。10/20の宮津産業フェスタの中でブースを設けて、新会社で考えた減災イベントとして実際に出店し、市民の皆さんに向けて話をします。また、10/16にはNHKアナウンサーの防災出前授業が予定されております。
- 宮津市立図書館の行事として、10/20大型紙芝居を楽しむおはなし会「丹後ちりめん 加悦谷の三人の始祖」の上演を行います。

山本教育長

他になければ、第 11 回宮津市教育委員会定例会を閉会します。
ありがとうございました。

－閉会： 9：50－